



雷による被害にご注意を！



2021年6月

近年、雷による被害が増えており、平成26年には愛知県でも落雷により尊い人命が奪われました。
また、雷による火災も例年発生しており、設備や情報システムの破損、データの消失など落雷の影響は様々な範囲に拡大する可能性があります。
そこで今回は雷対策をご紹介します。

<避雷針のみでは雷から機器を守れない>

避雷針は建物や人を雷から守るもので、機器を保護するものではありません。

特に雷に脆弱な電子機器が普及しており、雷による被害は増加しております。

建物内部の機器を保護するためには必ずSPD（**雷保護装置**）を設置等の追加対策が必要になります。

<落雷による被害は身近なところにあります>

被害例 1 オフィスのパソコンやサーバー機器の故障

オフィスビルの近くに落雷があり、電源線と通信線を通じて雷サージが流れ、パソコンと通信機器内部の基盤が破損した。
蓄積データ消失により、業務に多大な影響を及ぼした。



雷サージにより損傷した基盤

被害例 2 試験測定中にエラー発生!

施設内に落雷があり、測定中の機器が破損した。

一般的に電子機器を構成している集積回路や電子部品の一部はインパルス耐電圧が低く雷サージにはとても脆弱です。

※インパルス耐電圧一瞬間が耐えられる瞬間的な過電圧の値



雷サージにより破損した集積回路および抵抗器

被害例 3 生産ラインへの電源供給がSTOP!

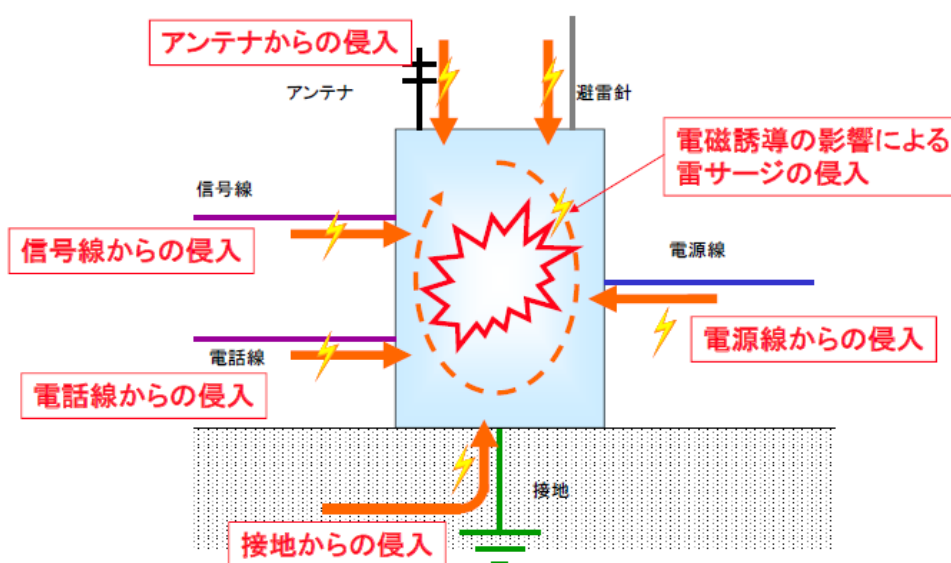
工場施設内に落雷があり、受電盤が破損。そのため電源供給が停止し、工場での生産が不可能になった。



雷サージにより破損した受電盤

<雷サージの侵入経路>

※雷サージ＝過渡的な過電圧や電流



適したSPDの設置で雷サージの侵入を防止することが重要です

消防・防災設備のトータルプランナー

内外物産株式会社